



給食だより

春号

令和8年4月

吉川市立学校給食センター



学校給食は学校教育活動の一つです

「学校給食の目標」は学校給食法に示されています。

学校での食育の推進において、学校給食は生きた教材として活用されるよう、目標達成にむけて様々な取り組みをしています。



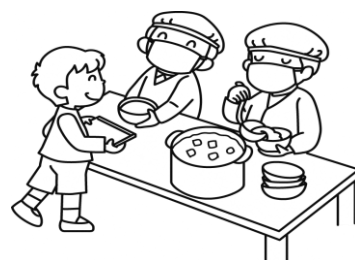
学校給食7つの目標

- 適切な栄養の摂取による健康の保持増進。
- 食事について正しい理解を深め、健全な食生活を営む判断力や望ましい食習慣を養う。
- 明るい社会性と協同の精神を養う。
- 自然の恩恵への理解を深め、生命、自然を尊重する精神や環境の保全に寄与する態度を養う。
- 食生活が多くの人々の勤労に支えられていることを理解し、感謝する。
- 伝統的な食文化を理解する。
- 食料の生産、流通及び消費について、正しく理解する。

学校給食が『生きた教材』として、さらに学校生活の楽しみの一つとして児童・生徒のみなさんに安心安全に届きますよう、給食センター一同協力して取り組んでまいります。

給食はみなさんに食べて欲しい量を提供しています。例えば、主食は低・中・高学年・中学校で量を変えています。量を調整できないものもありますが、学年・クラス人数に合わせて提供しています。皆さんは今、成長とともに食べる量を増やしていく時期です。

1学期は量が多いと思うかも知れませんが、3月には一人ひとりがしっかり食べられ、クラスの残りが少なくなるようにしていきましょう。無理をせず「もう一口食べよう」から始めましょう。



給食を食べるみなさんへのお願い

- ❁ 清潔な箸やスプーン、ナフキンをご自宅から持ってきてください。
- ❁ 給食の前には、必ず石鹸を使って手洗いを行いましょう。
- ❁ トレーや食器はみんなが使うものです。大切にしてください。
- ❁ 苦手な食べ物（アレルギーの食品は除く）にもチャレンジする気持ちを持ってください。卒業するころには、食べられるようになっていたら嬉しいです。



©yoshikawa

なまりんからのプレゼント！

♡ ハートにんじん ♡



©yoshikawa

毎月献立のどこかに、なまりんがこっそりハート型のにんじんを入れています。季節に合わせて花型や星型があることも。残さず食べると見つかるかもしれません。みんなで協力して、上手に盛り付けましょう。



食物アレルギーの話

「食べない」と「食べられない」の違いを知ろう

食物アレルギーは好き嫌いとは違います。「食べない」のではなく、「食べられない」のです。原因となる食べ物を食べたり、触ったりすると体にさまざまな症状が出ます。皮ふがかゆくなったり、じんましんが出たりするほか、命にかかわる危険な状態になることもあります。食物アレルギーが無い人もそのことを知っておいてください。

献立表確認のお願い

給食で初めて食べる食材はありますか？

アレルギーは、乳児がもっとも多く、年齢が上がると共に減少します。

しかし、中には学童期以降にアレルギー症状があらわれる場合もあります。給食で初めて食べる食材があり心配な場合は、給食ではなく、まずは体調がよい時に家庭で食べてみることをおすすめします。

